



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社 丸山製作所
コード番号 6316 URL <https://www.maruyama.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
(氏名) 内山 剛治
(氏名) 高取 亮
TEL 03-3252-2271

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	17,603	4.5	264	37.9	253	40.3	141	62.7
2023年9月期第2四半期	18,431	2.5	425	34.8	424	40.3	378	27.1

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 549百万円 (2.0%) 2023年9月期第2四半期 560百万円 (57.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	32.90	
2023年9月期第2四半期	85.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	38,082	19,442	50.7
2023年9月期	36,733	19,466	52.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 19,313百万円 2023年9月期 19,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期				75.00	75.00
2024年9月期					
2024年9月期(予想)				85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.4	2,000	15.4	2,000	15.8	1,400	14.9	324.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年9月期2Q	5,029,332 株	2023年9月期	5,029,332 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年9月期2Q	828,517 株	2023年9月期	719,911 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期2Q	4,285,565 株	2023年9月期2Q	4,429,238 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除による需要回復が一巡する中で、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、地政学的緊張の高まりの長期化による資源やエネルギー価格の高騰、各国におけるインフレ抑制に向けた金融引き締めによる急激な円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、国内では農業資材費及び原材料費の高騰に伴う価格改定の影響などにより出荷・生産実績は減少しました。海外ではコロナ下における巣ごもり需要の反動減はありましたが、出荷・生産実績はほぼ横ばいとなりました。

このような状況の中、国内におきましては、大規模区画農業への対応が可能なハイクリブーム「BSA-2000C」を全国的な展開へ向けて、各拠点に実演機を配置し、展示会への出展、実演を行うなど販路拡大を進めました。また、ウルトラファインバブル市場拡大を目指し、肥料削減による環境負荷低減、収量増加が期待される実証結果の報告を受けて農業活用における有効性を実証したほか、洗浄効果が高く温水温度を下げて使用が可能な温水洗浄機の発売、シャワーヘッドのBtoC市場を意識した販売促進など、市場拡大のスピードを更に加速させました。加えて、環境配慮型製品の開発として、農機等のプロユース作業機のゼロエミッションを目指し、世界初の小型作業機用2ストローク水素エンジンの安定運転に成功しました。海外におきましては、強みである大型防除機などの農林業用機械の北米やインド市場への展開や、ウルトラファインバブル製品の新たな販路拡大を目指し、積極的な拡販活動を展開しました。

これらの結果、国内におきましては、アグリ流通において大型防除機は増加しましたが、工業用ポンプ及び洗浄機が減少した結果、国内売上高は13,033百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。また、海外におきましては、中南米向けの動力噴霧機や刈払機、北米及び欧州向けの工業用ポンプが減少したことなどにより、海外売上高は4,570百万円（前年同四半期比12.1%減）となり、当第2四半期連結累計期間の売上高合計は17,603百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

利益面では、売上高の減少、原材料高騰による原価率の上昇などにより、営業利益は264百万円（前年同四半期比37.9%減）、経常利益は253百万円（前年同四半期比40.3%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は141百万円（前年同四半期比62.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 農林業用機械

国内におきましてはアグリ流通において大型防除機は増加しましたが、動力噴霧機は減少しました。また、海外におきましては、中南米向けの動力噴霧機や刈払機が減少したことなどにより、国内外の農林業用機械の売上高合計は12,875百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は275百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

② 工業用機械

国内におきましては、工業用ポンプ及び洗浄機が減少しました。また、海外におきましても、北米及び欧州向けの工業用ポンプが減少した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は3,115百万円（前年同四半期比19.4%減）、営業利益は529百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は1,518百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は97百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は210百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は119百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は38,082百万円となり、前連結会計年度末より1,349百万円増加いたしました。これは、電子記録債権の減少(1,041百万円)はありましたが、商品及び製品の増加(1,209百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(790百万円)、投資有価証券の増加(551百万円)などによるものであります。

負債総額は18,640百万円となり、前連結会計年度末より1,373百万円増加いたしました。これは、電子記録債務の減少(1,282百万円)はありましたが、支払手形及び買掛金の増加(833百万円)、短期借入金の増加(1,404百万円)、長期借入金の増加(513百万円)などによるものであります。

純資産総額は19,442百万円となり、前連結会計年度末より24百万円減少いたしました。これは、その他有価証券評価差額金の増加(382百万円)はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少(182百万円)、自己株式の取得による減少(254百万円)などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、売上債権の減少、短期借入金の増加はありましたが、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出の増加などにより、当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ574百万円減少し、3,428百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果、使用した資金は843百万円(前年同四半期比189百万円減)となりました。これは、前年同四半期に比べ売上債権の減少はありましたが、支払期間短縮による仕入債務の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果、使用した資金は1,066百万円(前年同四半期比606百万円増)となりました。これは、前年同四半期に比べ有形固定資産の取得による支出の増加などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果、得られた資金は1,323百万円(前年同四半期比970百万円増)となりました。これは、前年同四半期に比べ短期借入金及び長期借入金の増加などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、上期における課題に対して、製商品の値上げやトータルコストダウンの推進など必要な利益対策を講じており、また、工業用機械分野及び北米向け大型防除機の新製品投入を予定しているため、前回予想(2023年11月14日)を達成する見込みとなっておりますので修正いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,322	3,772
受取手形、売掛金及び契約資産	5,556	6,289
電子記録債権	2,257	1,215
有価証券	51	51
商品及び製品	5,969	7,179
仕掛品	329	450
原材料及び貯蔵品	2,590	3,380
その他	1,443	1,038
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	22,515	23,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,780	3,860
土地	2,745	2,747
その他（純額）	2,710	2,725
有形固定資産合計	9,236	9,333
無形固定資産	83	74
投資その他の資産		
投資有価証券	3,744	4,296
退職給付に係る資産	667	659
その他	498	355
貸倒引当金	△13	△9
投資その他の資産合計	4,897	5,302
固定資産合計	14,218	14,710
資産合計	36,733	38,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919	2,752
電子記録債務	6,041	4,759
短期借入金	4,336	5,740
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	139	130
賞与引当金	618	594
製品保証引当金	91	85
株主優待引当金	15	—
その他	1,828	1,812
流動負債合計	15,001	15,886
固定負債		
社債	30	25
長期借入金	609	1,122
退職給付に係る負債	7	7
資産除去債務	179	179
その他	1,439	1,420
固定負債合計	2,265	2,754
負債合計	17,267	18,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,489	4,496
利益剰余金	8,960	8,778
自己株式	△1,190	△1,444
株主資本合計	16,911	16,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,494	1,876
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	321	336
退職給付に係る調整累計額	636	617
その他の包括利益累計額合計	2,451	2,831
非支配株主持分	102	128
純資産合計	19,466	19,442
負債純資産合計	36,733	38,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	18,431	17,603
売上原価	13,842	12,930
売上総利益	4,588	4,673
販売費及び一般管理費	4,163	4,409
営業利益	425	264
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	36	42
その他	40	28
営業外収益合計	77	71
営業外費用		
支払利息	9	19
為替差損	—	26
金融関係手数料	39	3
その他	29	33
営業外費用合計	78	82
経常利益	424	253
特別利益		
固定資産売却益	2	0
退職給付制度改定益	36	—
特別利益合計	39	0
特別損失		
固定資産処分損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	463	251
法人税等	88	81
四半期純利益	375	169
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	378	141

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	375	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	382
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△80	15
退職給付に係る調整額	84	△18
その他の包括利益合計	185	379
四半期包括利益	560	549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	563	520
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463	251
減価償却費	439	491
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△23
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△0	△5
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△15	△15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,894	△17
退職給付制度改定益	△36	—
受取利息及び受取配当金	△37	△43
支払利息	9	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△249	608
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,268	△2,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,334	73
その他	1,469	10
小計	△782	△764
利息及び配当金の受取額	37	43
利息の支払額	△12	△18
法人税等の支払額	△276	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,033	△843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△42	△45
定期預金の払戻による収入	38	20
有形固定資産の取得による支出	△438	△997
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△3	△1
投資有価証券の取得による支出	△5	△0
その他	△13	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△460	△1,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500	1,399
長期借入れによる収入	220	522
長期借入金の返済による支出	△53	△6
社債の償還による支出	△5	△5
リース債務の返済による支出	△13	△7
自己株式の取得による支出	△48	△254
配当金の支払額	△243	△323
非支配株主への配当金の支払額	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	353	1,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,208	△574
現金及び現金同等物の期首残高	4,658	4,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,449	3,428

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	13,084	3,865	1,386	7	18,343	—	18,343
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	13,084	3,865	1,386	7	18,343	—	18,343
その他の収益	—	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	13,084	3,865	1,386	95	18,431	—	18,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	141	141	△141	—
計	13,084	3,865	1,386	236	18,572	△141	18,431
セグメント利益	335	607	109	137	1,190	△765	425

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	12,875	3,115	1,518	7	17,516	—	17,516
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	12,875	3,115	1,518	7	17,516	—	17,516
その他の収益	—	—	—	87	87	—	87
外部顧客への売上高	12,875	3,115	1,518	94	17,603	—	17,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	116	116	△116	—
計	12,875	3,115	1,518	210	17,720	△116	17,603
セグメント利益	275	529	97	119	1,022	△757	264

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。